

# 「国道2号大野地区沿岸部防災対策検討協議会」について

## 目的

近年の相次ぐ大型台風の来襲により、広島国道事務所管内においても、越波・高潮などによる沿岸部国道の部分崩壊や全面通行止め等の被害が発生しています（廿日市市丸石～大竹市玖波間では過去5回。特に平成16～18年は3年連続）。今後も同様な越波や高潮被害の発生が予想されることから、本協議会では関係自治体の道路・海岸管理者や学識経験者、さらには地域住民が一体となって、沿岸部における具体的な防災対策（越波対策）を検討し、地域の防災力を一層強化していくことを目的とし、昨年度から協議会を設置し検討を進めているものです。決定された基本方針（フレア式護岸）を基に、今年度は地形測量、地質調査を行い、より具体的な護岸の設置位置、整備方針等について検討を行います（2回開催予定）。

## 平成18年度協議会の検討概要

### ～第1回協議会（H18.10.4開催）～

前提条件の整理（被災状況・砂浜の保全・海浜利用の考慮・景観検討等）  
対策工法の抽出、整備水準等の比較検討

### ～第2回協議会（H18.11.30開催）～

有力な対策工法（前面消波ブロック式、フレア式護岸等）の比較検討  
地域を対象とした感性アンケート結果として、フレア式護岸の好感度が高い結果

### ～第3回協議会（H19.2.26開催）～

フレア式護岸の性能検証（水理模型実験の映像）  
歩道整備について（フレア式護岸の歩道利用と八坂山トンネル部の対策(案)）  
護岸整備における、問題点・課題の抽出



平成18年度第3回協議会の様子



## 平成19年度 第1回協議会の検討内容(予定)

平成18年度の協議会検討結果概要。  
現地調査の報告（測量・地質調査）。  
現地調査結果を踏まえた、フレア式護岸整備位置及び模型実験による機能検証。  
フレア式護岸上部を利用した歩道整備ネットワーク（案）について。  
海浜の変遷について（航空写真整理）。